

ネイチャーセンター ガイド (113)

今年はちょっと増えました・・・

毎度おなじみ、宝の山のルール「親父の小言」。
宝の山のルールの前に当たり前の社会のルール。きちんとできている人が大半なのですが、これがなかなか守られていない。と言うか知らない、教わってない、耳に『たこ』ができるまで、すりこまれていないんですよね、3歳までに。この3歳までにが重要なんです、お気づきですか？長くなるので、またいつかお話します。でも、気になる方は、宝の山までおいでいただくか、お電話ください。

さて、宝の山のルールですが、今年もいくつか新しく加え、4月に行われた「さくらのお祭り」で披露させてもらいました。さらに復習をかねて、今月号に掲載させていただきます。

ルールを守り楽しく遊ぶ、ルールとはなぜ守らなければならないのか？それはルールだから・・・。ルールはなぜあるのか？それは、破るためでなく、守るため。守ることは、自分の体や考えを安定させるため。安定とは楽しさ、何事も楽しくなければはじまらない。楽しさを維持していくためにも、ルールを守らなければならないのです。

国、まちに基本的なルールがあり、学校、施設、家、地域にもそれぞれのルールがある。楽しく、気持ちよく暮らしていくためにルール(約束事)はあるんです。

屁理屈をこねるわがままな大人たちは、楽しく地域で生きていこうとしない。「何で俺たちが・・・」「俺たちには関係ない」こんなルールを無視した発言をすれば、子どもが真似するのは当然です。子どもを見守り、大人を育てる。変な時代で、大人の心が成長していないのはなぜなのか？深いよね、この課題。

都留を愛し、地域に根ざす、都留を愛おしく思い、都留を誇る、地域文化よいつまでも。誰のためでもなく、みんなのために、都留魂、響け、響き渡れ、都留魂。

宝の山のルール「親父の小言」

①分からないことは聞け、大人も分からなければ共に考えていけ



- ②あいさつは目を見てね
- ③靴のかかとをそろえてきちんと脱げ
- ④なくなれば替えてやれ(トイレットペーパーに限らず)
- ⑤人は助けてやれ
- ⑥人はけなすな
- ⑦友だちのいいところを見つけてやれ
- ⑧ゴミはまたぐな、拾え
- ⑨屁理屈は言うな！！
- ⑩喧嘩はしろ、でも殴るのは反対(暴力でなにも解決しない、心痛い)
- ⑪陰口は言うな
- ⑫苦労は買ってでもしろ
- ⑬若いうちにたくさん、失敗しろ
- ⑭年寄りはいたわれ
- ⑮正しい言葉を使え(きもい、うざいは、日本語じゃない)
- ⑯カラスに気をつけろ(特に宝の山のカラス)
- ⑰とにかく、本気であそべ
- ⑱今を精一杯生きろ
- ⑲分からなければ教えてやる、手を上げろ

以上、⑮～⑲が新たに加われました。よろしくお願いします。

ルールを守ること、大人の言うことを聞くことは、賢く生きること。たくさん考えられてきた言葉には、経験という裏付けがなされ、与えられた者は、無償の愛を感じ、安心感を覚えます。ルールを守るとは、賢く生きていくことにつながっているんです。

賢くとは、お金を稼ぐためだけの賢さではなく、考えながらゆったり心豊かにという意味を含んでいます。

連絡・問合先 ☎(45)6222

宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター
開館時間：午前9時から午後4時まで
休館日：月曜日、祝日の翌日